

小牧市監査公表第5号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果について次のとおり公表する。

令和5年2月28日

小牧市監査委員 伊藤 二三

小牧市監査委員 稲垣 衿子

定期監査の結果について

記

第1 監査の対象及び実施期間

都市政策部

都市計画課、東部まちづくり推進室、都市整備課、みどり公園課、
区画整理課

対象期間 令和4年4月1日から令和4年10月31日までの所管業務

実施期間 令和4年11月28日から令和5年1月13日まで

第2 監査の方法

小牧市監査基準に準拠し、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、各課に共通する収入・支出事務、契約事務、補助金交付事務、公有財産管理事務、旅費及び時間外勤務手当等支給事務などの財務事務及び個別の事務事業において、それぞれ抽出による関係書類や監査資料等を調査するとともに、関係職員から説明を聴取し、事務事業の執行が適正かつ合理的・効率的に行われているかどうかを主眼として監査を実施した。

第3 監査の結果

監査を実施した範囲においての各所管の事務事業の執行処理状況については、一部の是正・改善を要する事項を除き、適正に執行されていると認められた。なお、軽微な事務の誤りについては、その都度是正指導を行った。

各所管の監査の結果及び意見は次のとおりである。

【都市政策部】

《 都市計画課 》

指摘事項なし

意見

- ・ 定住促進補助事業のうち既存の三世代同居・近居住宅支援補助金を見直し、更なる若年世代の定住促進を図るため、市内就業者の定住促進や中古住宅の活用という新たな視点から補助対象を拡大されている。これは昼夜間人口比率が100を上回っている本市の特性や、中古住宅の利活用による空家発生の抑制などに着目した情報を政策に上手く反映できていると評価するものである。

引き続き、他市の取組状況や実績を分析してより効果の高い補助事業となるよう取り組まれない。

《 東部まちづくり推進室 》

指摘事項なし

意見

- ・ 入居開始から約40年が経過している桃花台ニュータウンが位置する東部地域では平成12年以降人口が減り続け、少子高齢化も急速に進行している。このような現状で東部地域が持続的に発展し続けるまちとするため、地域住民をはじめ、事業者、行政など関係者が共通認識を持ち、まちづくりを進める方向性を示す計画である「東部振興構想」を令和4年3月に策定された。令和4年度は構想の具現化に向け、「まずはやってみよう

プロジェクト」と題した事業を複数実施し、まちづくりに参画する場となるプラットフォームの構築に取り組まれている。

引き続き、まちづくりに関心を持ってもらうための活動を支援するとともに、この取組が一部の関係者でとどまらぬよう地域に存在する企業等にも協力を仰ぎながら、まちづくりの運営を担う人材や団体の発掘・育成に努められたい。

《 都市整備課 》

指摘事項なし

意見

- ・ 将来にわたって魅力と活力の続く中心市街地を目指して策定された「小牧市中心市街地グランドデザイン」の方針に沿って民間活力を活かしたまちづくりを推進するために、小牧駅周辺整備において民間活力導入調査（サウンディング型市場調査）を委託されている。

駅周辺の整備をはじめ維持管理や運営等にも民間の資金、経営能力及び技術能力が活用されることで、小牧駅一帯が市の玄関口にふさわしい目指す空間となることを期待する。

- ・ こまき巡回バスの運行については、マタニティフリーパスの配布や停留所への上屋・ベンチ設置といった待合環境の整備など充実したコミュニティバス網として利便性の向上を図られているが、その運行経費は年々増加傾向にあるため、経費の積算については常に検証を重ね、市民の理解を得ることができるようコスト削減にも引き続き努められたい。

《 みどり公園課 》

指摘事項

(1) 契約事務について

主管課での見積徴収において、予定価格調書を予定価格封筒に入れた形跡がなく、予定価格の正しい取り扱いがされていなかったもの

意見

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止が続いていた「市民四季の森バラ・アジサイまつり」が3年ぶりに開催され、イベントを実施した2日間で来場者は7千人を超えたとのことであった。なかでも「四季の森 de 元気文化祭」は、コロナ禍で発表の場が失われていた市内中学校・高等学校吹奏楽部に演奏の機会を設けることができた有意義な取組である。
- ・ 旧図書館跡地については、地域住民や訪れた人が立ち寄り、憩い、交流できる公共空間の整備を図るため、サウンディング型市場調査を実施するなど、民間活力を導入した公園の整備・運営の検討を進められている。

これは、小牧市において初となる本格的な官民連携手法を用いた事業とのことであり、今回の検討過程で得られたノウハウは今後の施設整備においても活用が期待できることから、広く職員間で共有できるよう取り組まれない。

《 区画整理課 》

指摘事項

(1) 契約事務について

契約書に貼付された収入印紙の金額が誤っていたもの

意見

- ・ 区画整理事業に伴う農地の宅地化などによる水路、河川への流出量の増大に対し、一時的に激しく降った雨水を貯蓄し、徐々に排水することにより治水を図ることを目的として調整池を整備されている。

そうしたなか、小牧南土地区画整理事業に伴い整備した8号調整池については、築堤構造部分の肥大により調整池の破損と隣接地への影響が発生しているとのことから、早急に原因究明や隣接地の対応など課題への対処に取り組まれない。